

## 平成24年青森県登録販売者試験について

## 1 概要

出願者 511名  
 受験者 494名  
 合格者 178名      合格率 34.8% (四捨五入)

## 2 合格基準

総得点の7割であって、かつ、各項目の得点が4割以上

## 3 試験成績

	手引き第1章 (20点)	手引き第2章 (20点)	手引き第3章 (40点)	手引き第4章 (20点)	手引き第5章 (20点)	総得点 (120点)
最高得点	20	20	40	20	20	119
最低得点	6	2	9	5	4	35
平均点	16.3	11.4	25.2	13.7	11.2	72.7

※平均点は小数点第2位を四捨五入

## 注意事項

## (1) 得点の閲覧

得点の閲覧を希望する方は、受験票及び身分を確認できるもの(運転免許証等)を持参し、青森県庁北棟6階の医療薬務課へお越しください。(地下に駐車場あり。)

## 閲覧受付期間

平成24年3月12日(月)～4月11日(水) 午前9時～午後5時

(ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。)

## (2) 合格通知書

合格通知書の発送は、3月16日です。

合格者で転居された方は、3月14日までに医療薬務課へ連絡してください。

## (3) 平成24年度試験日程

平成24年8月頃に実施する予定としています。

4 正解

問92については、不適切問題として取扱い、全員に加点しました。

問	正解
問1	2
問2	1
問3	2
問4	4
問5	3
問6	2
問7	5
問8	5
問9	1
問10	3
問11	1
問12	3
問13	4
問14	3
問15	3
問16	4
問17	1
問18	2
問19	4
問20	4
問21	1
問22	2
問23	4
問24	3
問25	1
問26	5
問27	4
問28	3
問29	3
問30	1
問31	2
問32	4
問33	3
問34	4
問35	1
問36	3
問37	3
問38	2
問39	1
問40	4

問	正解
問41	2
問42	1
問43	1
問44	3
問45	4
問46	3
問47	2
問48	3
問49	1
問50	4
問51	2
問52	4
問53	1
問54	4
問55	3
問56	3
問57	2
問58	3
問59	3
問60	1
問61	5
問62	1
問63	1
問64	3
問65	1
問66	5
問67	2
問68	4
問69	5
問70	4
問71	1
問72	3
問73	2
問74	1
問75	3
問76	1
問77	2
問78	3
問79	4
問80	3

問	正解
問81	4
問82	2
問83	3
問84	1
問85	2
問86	3
問87	1
問88	5
問89	3
問90	3
問91	2
問92	全員加点
問93	3
問94	1
問95	1
問96	3
問97	2
問98	4
問99	1
問100	2
問101	3
問102	5
問103	3
問104	3
問105	3
問106	5
問107	3
問108	1
問109	3
問110	2
問111	5
問112	3
問113	4
問114	1
問115	2
問116	2
問117	4
問118	4
問119	4
問120	3

## 5 不適切問題について

### 問92

正解なし（当初予定していた正解は3）

#### 【解説】

設問 a 及び b

これらの問いは、薬剤師又は登録販売者にかかる第2類医薬品の情報提供及び相談応需について問う記述として出題しましたが、「登録販売者」と記載すべきところ「登録販売業者」と誤って記載したことから、正しい記述が設問 c のみと判断されてしまうため、正解なしとして受験者全員を正解として採点しました。

問1 医薬品の本質に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品は、人体にとっては異物（外来物）であるため、好ましくない反応（副作用）を生じる場合がある。
- b 人体に対して使用されない殺虫剤や検査薬は、人の健康に影響を与えないものと考えられる。
- c 一般用医薬品は、市販後は原則として、その有効性、安全性を確認することはない。
- d 医薬品が人体に及ぼす作用は複雑かつ多岐に渡るが、そのすべてが解明されている。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	正
4	正	誤	誤	誤
5	誤	正	正	正

問2 医薬品の本質に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品は、医療用医薬品と比較すればリスクは相対的に低いと考えられる。
- b 一般の生活者においては、添付文書や製品表示に記載された内容を見ただけでは、効能、効果や副作用等について誤解や認識不足を生じることがある。
- c 一般用医薬品には、添付文書や製品表示に効能効果、用法用量などの情報が記載されている。
- d 医薬品は、その有用性が認められていないものもあり、使用には保健衛生上のリスクを伴うものであることに注意が必要である。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	正	誤	正
4	正	誤	正	正
5	誤	正	正	正

問3 次の記述は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法の条文である。( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。なお( )の同じ記号には同じ字句が入る。

この法律において「医薬品の副作用」とは、「( a )が適正な( b )に従い適正に使用された場合においてもその( a )により人に発現する( c )」と定義している。

	a	b	c
1	医薬品	使用目的	健康被害
2	医薬品	使用方法	健康被害
3	医療用医薬品	使用方法	健康被害
4	許可医薬品	使用方法	有害な反応
5	許可医薬品	使用目的	有害な反応

問4 医薬品の作用に関する以下の記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。なお( )の同じ記号には同じ字句が入る。

薬という物質、すなわち薬物が生体の生理機能に影響を与えることを( a )という。通常、医薬品は複数の( a )を併せ持つため、医薬品を使用した場合には、( b )以外の反応が現れることがある。( b )以外の反応であっても、特段の不都合を生じないものであれば、通常、( c )として扱われることはないが、好ましくないものについては一般に( c )という。

	a	b	c
1	主作用	副作用	薬理作用
2	主作用	薬理作用	副作用
3	副作用	薬理作用	主作用
4	薬理作用	副作用	主作用
5	薬理作用	主作用	副作用

問5 医薬品の副作用に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 医薬品の副作用は、「薬理作用による副作用」と「アレルギー（過敏反応）」に大別される。
- 2 一般用医薬品は、副作用の兆候が現れたときには基本的に使用を中止し、必要に応じて医師、薬剤師などに相談がなされるべきである。
- 3 一般用医薬品は、軽度な疾病に伴う症状の改善等を図るためのものであるため、重大な副作用は生じない。
- 4 一般用医薬品は、十分注意して適正に使用された場合であっても、副作用が生じることがある。

問6 医薬品の相互作用に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 相互作用を考えるには、同時に服用している医薬品のみを対象とすればよい。
- b かぜ薬やアレルギー用薬では、成分や作用が重複することが多いため、通常、これらの薬効群に属する医薬品の併用は避けることとされている。
- c 相互作用によって、医薬品の作用が増強したり、減弱したりする。
- d アルコールは、医薬品の吸収や代謝に影響を与えることはない。

- 1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

問7 次の表は、かぜの諸症状（のどの痛み、せき、たん、頭痛、発熱、悪寒、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和を効能、効果とする一般用かぜ薬（内服薬）の成分の一覧である。

3錠中	
アセトアミノフェン	300mg
グアヤコールスルホン酸カリウム	83.33mg
デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	16mg

このかぜ薬の添付文書の記載内容に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人は、服用前に医師又は薬剤師に相談することとされている。
- b 5～6回服用しても症状がよくなる場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談することとされている。
- c まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けることとされている。

間質性肺炎：空せき（たんを伴わないせき）を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等が現れる。（これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに医師の診療を受けること。）

- d 長期連用しないこととされている。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	正	誤	正
4	正	誤	正	正
5	誤	正	正	正

問8 小児に一般用医薬品を使用する場合の注意事項に関する以下の記述うち、誤っているものはどれか。

- 1 一般的に乳幼児は、容態が変化した場合に、自分の体調を適切に伝えることが難しいため、医薬品使用後の状態を保護者等がよく観察することが重要である。
- 2 錠剤、カプセル剤等は服用時に喉<sup>のど</sup>につかえやすいので、5歳未満の幼児に使用される医薬品では、注意するよう添付文書に記載されている。
- 3 乳児向けの用法用量が設定されている医薬品であっても、乳児は医薬品の影響を受けやすく、一般用医薬品の使用の適否が見極めにくいいため、基本的には医師の診療を受けることが優先される。
- 4 小児へ医薬品を与える場合は、成人用の医薬品の量を減らして与える必要がある。

問9 小児の医薬品使用に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品の使用上の注意等において、小児とは7歳未満の年齢区分をいう。
- b 小児は、肝臓や腎臓が未発達のため、医薬品の成分の代謝・排泄に時間がかかり、作用が強すぎたり、副作用が強く出ることがある。
- c 小児は大人と比べて身体の大きさに対して腸が短く、服用した医薬品の吸収率が低い。
- d 小児は、循環血液中に移行した医薬品の成分が脳に達しやすいため、中枢神経系に影響を与える医薬品で副作用を起こしやすい。

- 1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)



問 10 高齢者の医薬品使用に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 高齢者の生理機能の衰えの度合いには個人差が大きいため、年齢のみから医薬品によるリスクを判断することは難しい。
- 2 高齢者が一般用医薬品を定められた用量の下限で使用してもなお作用が強すぎる等の問題が生じる場合は、それ以下に量を減らして服用を続けることが望ましい。
- 3 高齢者は、基礎疾患を抱えていることが多く、一般用医薬品の使用によって、その症状が悪化する場合がある。
- 4 高齢者では、嚥下障害がある場合があり、内服薬を使用する際、誤嚥（食べ物等が誤って気管に入り込むこと）を誘発しやすくなるので注意が必要である。

問 11 授乳婦、妊婦の医薬品使用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 母体が医薬品を使用した場合、胎盤にある胎盤関門によって医薬品成分の胎児への移行が完全に防御される。
- b 便秘薬の中には、配合成分や用量によっては流産や早産を誘発するおそれがあるものがある。
- c ビタミンAは、妊婦に不足しやすいビタミンなので、妊娠中は積極的に摂取するようにした方がよい。
- d 授乳婦が医薬品を服用していても、肝臓で代謝されるため、医薬品の成分が乳汁中に移行することはなく、乳幼児に母乳を与えても差し支えない。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	誤	正	誤	誤
4	正	正	正	誤
5	正	正	誤	誤

問12 医療機関で治療を受けている人等の一般用医薬品使用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 疾患の種類や程度によっては、一般用医薬品の有効性や安全性に影響を与える要因となることがある。
- b 一般用医薬品を使用することによってその症状が悪化したり、治療が妨げられることもある。
- c 医療機関・薬局で交付された薬剤を使用している人については、登録販売者において一般用医薬品との併用の可否を判断することは困難なことが多く、その薬剤を処方した医師若しくは歯科医師又は調剤を行った薬剤師に相談するよう説明する必要がある。
- d 医療機関での治療は特に受けていない場合であっても、一般用医薬品の種類や配合成分等によっては、特定の症状がある人が使用するとその症状を悪化させるおそれがある等、注意が必要なものがある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	正	誤	正
4	正	誤	正	正
5	誤	正	正	正

問13 子どもと高齢者のおおよその目安と年齢区分に関する以下の記述のうち、( )の中に入れるべき数字の正しい組み合わせはどれか。

- 乳児：( a ) 歳未満
- 幼児：( b ) 歳未満
- 小児：( c ) 歳未満
- 高齢者：( d ) 歳以上

	a	b	c	d
1	1	5	7	65
2	3	7	10	60
3	3	5	12	60
4	1	7	15	65
5	5	7	15	75

問14 プラセボ効果に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品を使用したとき、結果的又は偶発的に薬理作用によらない作用を生じることがプラセボ効果という。
- b 医薬品を使用したこと自体による楽観的な結果への期待（暗示効果）や、条件付けによる生体反応、時間経過による自然発生的な変化（自然緩解など）等が関与して生じると考えられている。
- c 通常、医薬品を使用したときにもたらされる反応や変化には、薬理作用によるもののほか、プラセボ効果によるものも含まれている。
- d プラセボ効果によってもたらされる反応や変化にも、望ましいもの（効果）と不都合なもの（副作用）とがある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	正	誤	正
4	正	誤	正	正
5	誤	正	正	正

問 15 医薬品の品質に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品は、適切な保管や陳列がなされていても、経時変化により品質の劣化が生じる。
- b 医薬品の使用期限とは、未開封状態で適正な条件で保管された場合に品質が保持される期限である。
- c 医薬品の有効成分は、高温や多湿、光によって品質の劣化を起こすことがある。
- d 医薬品の添加物成分は、高温や多湿、光によって品質の劣化を起こすことはない。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	誤	誤	正	正
4	正	正	正	誤
5	正	正	誤	誤

問 16 一般用医薬品の役割に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 軽度な疾病に伴う症状の改善
- b 生活の質（QOL）の改善、向上
- c 健康の維持、増進
- d 衛生害虫の防除

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	正	誤	正
4	正	誤	正	正
5	誤	正	正	正

問 17 薬事法第 25 条に規定される一般用医薬品の定義について、（ ）の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

医薬品のうち、その効能及び効果において人体に対する作用が（ a ）ものであって、（ b ）その他の医薬関係者から提供された情報に基づく（ c ）の選択により使用されることが目的とされているもの。

	a	b	c
1	緩和な	登録販売者	需要者
2	緩和な	薬剤師	消費者
3	著しくない	医師	消費者
4	著しくない	薬剤師	需要者
5	緩和な	登録販売者	消費者

問 18 サリドマイドに関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 サリドマイド製剤は、1957年に西ドイツ（当時）で販売が開始され、我が国においても催眠鎮静剤として販売された。
- 2 サリドマイド訴訟とは、サリドマイド製剤を妊娠している女性が使用したことにより、出生児に四肢欠損、耳の障害等の先天異常が発生したことに対する損害賠償訴訟である。
- 3 サリドマイド製剤は、1961年11月、西ドイツのレント博士がその服用による催奇形性について警告を発し、日本国内ではその後、速やかに販売停止及び回収措置がとられた。
- 4 血管新生を妨げる作用は、サリドマイドの光学異性体のうち、S体のみが有する作用であり、R体にはなく、また、鎮静作用はR体のみが有するとされている。

問 19 スモンに関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 スモン訴訟とはキノホルム製剤を使用したことにより、亜急性脊髄視神経症に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。
- 2 キノホルム製剤は、1924年から整腸剤として販売されていたが、我が国では、1970年8月になって、スモンの原因はキノホルムであるとの説が発表され、同年9月に販売が停止された。
- 3 スモンはその症状として、初期には腹部の膨満感から激しい腹痛を伴う下痢を生じ、次第に下半身の痺れや脱力、歩行困難等が現れる。麻痺は上半身にも広がる場合があり、ときに視覚障害から失明に至ることもある。
- 4 キノホルム製剤については、一般用医薬品として販売されていた製品はない。

問20 薬害とその後講じられた対策に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 サリドマイド訴訟、スモン訴訟を契機として、医薬品副作用報告制度が1979年に創設された。
- 2 スモン訴訟を契機として、スモン患者に対しては、治療研究施設の整備、重症患者に対する介護事業等が行われている。
- 3 ヒト免疫不全ウイルス（HIV）、クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）の感染被害を契機として、生物由来製品感染等被害救済制度が創設された。
- 4 HIVの感染被害を契機として、献血時の問診の充実が図られた。

問 21 かぜに関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 発熱や頭痛を伴って、悪心・嘔吐、下痢等の消化器症状が現れることがあり、これらは典型的なかぜの症状である。
- b 原因のほとんどは細菌感染であるが、その他、ウイルス感染や、まれに冷氣や乾燥、アレルギーのような非感染性の要因による場合もある。
- c かぜは単一の疾患ではなく、医学的にはかぜ症候群という。
- d 関節リウマチやリウマチ熱は、発熱や関節痛など、かぜとよく似た症状を示すことがある。

1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 22 次の漢方処方製剤のうち、通常かぜの症状に用いられないものはどれか。

- 1 香蘇散こうそさん
- 2 麻黄湯まおうとう
- 3 小柴胡湯しょうさいことう
- 4 小青竜湯しょうせいりゅうとう
- 5 小建中湯しょうけんちゅうとう

問 23 解熱鎮痛成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a アスピリン、カフェイン、エテンザミドの組み合わせは、それぞれの頭文字から「ACE処方」と呼ばれる。
- b アスピリンは医療用医薬品として、血栓ができやすい人に対する血栓予防薬の成分としても用いられている。
- c アスピリンは、他の解熱鎮痛成分に比べて胃腸障害が起きやすいとされ、アスピリンアルミニウムとして胃粘膜への刺激を減弱させる等して、胃腸への影響の軽減を図っている製品もある。
- d アスピリン、サザピリン、イソプロピルアンチピリンを総称してピリン系解熱鎮痛成分という。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	誤	正	正	誤
3	誤	誤	正	正
4	正	正	誤	正
5	正	誤	誤	誤

問 24 かぜ薬で使用される医薬品の成分とその目的とする作用の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- 1 塩酸ブロムヘキシン———抗炎症作用
- 2 塩化リゾチーム———鼻粘膜の充血を和らげ、気管・気管支を広げる作用
- 3 ベラドンナ総アルカロイド——解熱鎮痛作用
- 4 イブプロフェン———くしゃみや鼻汁を抑える作用
- 5 ノスカピン———鎮咳<sup>がい</sup>作用

問 25 リン酸コデインに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 作用本体であるコデインは、エフェドリンと同じ基本構造を持っている。
- b 長期連用や大量摂取によって倦怠感や虚脱感、多幸感が現れることがある。
- c 内服液剤では、本来の目的以外の意図で服用する不適正な使用がなされることがある。
- d 胃腸の運動を亢進させる作用があり、副作用として下痢が現れることがある。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	誤
2	誤	正	正	誤
3	誤	誤	正	正
4	正	正	誤	正
5	誤	正	誤	正



問 26 次の表は、ある配合薬に含まれている成分の一覧である。

4錠中		
塩酸メクリジン		50mg
アリルイソプロピルアセチル尿素		30mg
無水カフェイン		40mg
臭化水素酸スコポラミン		0.3mg

この配合薬の効能・効果として考えられる最も適当なものはどれか。

- 1 腰痛、筋肉痛の緩和
- 2 眠気の防止
- 3 一時的な睡眠障害の緩和
- 4 胃痛、腹痛の緩和
- 5 乗物酔いによる症状の予防および緩和

問 27 以下の口腔咽喉薬、うがい薬（含嗽薬）に関する配合成分とその副作用に関する記述について、（ ）の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。なお（ ）の同じ記号には同じ字句が入る。

（ a ）系殺菌消毒成分が口腔内に使用される場合、結果的に（ a ）の摂取につながり、（ b ）におけるホルモン産生に影響を及ぼす可能性がある。（ c ）や橋本病などの（ b ）疾患の診断を受けた人では、その治療に悪影響を生じるおそれがある。

	a	b	c
1	ヨウ素	甲状腺	バセドウ病
2	グリチルリチン酸	副腎皮質	バセドウ病
3	ヨウ素	副腎皮質	クローン病
4	ヨウ素	甲状腺	クローン病
5	グリチルリチン酸	副腎皮質	偽アルドステロン症

問 28 アセトアミノフェンに関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 小児の解熱に用いる坐薬には配合されない成分である。
- 2 解熱・鎮痛作用は末梢性作用によるものと考えられている。
- 3 サリチル酸系の解熱鎮痛成分である。
- 4 空腹時にも服用できる製品がある。
- 5 重篤な副作用に無菌性髄膜炎がある。

問 29 次の記述は、眠気を促す薬に関するものである。( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。なお( )の同じ記号には同じ字句が入る。

生体内の刺激伝達物質である( a )は脳の下部にある睡眠・覚醒に大きく関与する部位において、神経細胞を刺激して覚醒の維持・調節を行う働きを担っている。

脳内の( a )による刺激の発生が( b )と眠気が促される。( c )は抗( a )成分の中でも特にそうした中枢作用が強いとされる。

	a	b	c
1	ヒスタミン	抑えられる	塩酸ジフェンヒドラミン
2	ヒスタミン	亢進される	塩酸ジフェンヒドラミン
3	プロスタグランジン	抑えられる	ブロムワレリル尿素
4	プロスタグランジン	亢進される	ブロムワレリル尿素
5	ヒスタミン	抑えられる	ブロムワレリル尿素

問 30 精神神経に作用する薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 小児鎮静薬（生薬製剤・漢方処方製剤）は、夜泣き、乳吐きなどの症状を鎮めるほか、小児における虚弱体質、消化不良の改善を目的とする医薬品である。
- b 抗ヒスタミン成分を主薬とする催眠鎮静薬は、慢性的に不眠症状がある人や、不眠症の診断を受けている人も適用対象である。
- c 妊娠中にしばしば生ずる睡眠障害については、ホルモンのバランスや体形の変化等によるものであり、睡眠改善薬の適用対象ではない。
- d 睡眠改善薬の使用により、まれに眠気とは正反対の作用を生じて、神経過敏や興奮などの症状が現れることがある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	誤	正	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	正	誤	正	正
5	誤	誤	誤	正

問 31 消化器系薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 制酸薬は、胃液の分泌亢進による胃酸過多や、それに伴う胸やけ、腹部の不快感、吐き気等の症状を緩和することを目的とする医薬品である。
- b 生薬成分であるオウバクやオウレンが配合された健胃薬は、苦みが強いいためオブラートで包んで服用するとよい。
- c 消化薬は、消化管の働きを活発にさせ内容物の流れをよくすることにより、食物の消化を促す医薬品である。
- d いわゆる総合胃腸薬は、様々な胃腸の症状に幅広く対応できるように、制酸、胃粘膜保護、健胃、消化、整腸、鎮痛鎮痙、消泡等それぞれの作用を目的とする成分を組み合わせた製品である。

- 1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

問 32 制酸成分に関する記述について、( ) 内に入れるべき字句として正しいものはどれか。なお ( ) 内にはすべて同じ字句が入る。

制酸成分のうち ( ) を含む成分については、透析療法を受けている人が長期間服用した場合には ( ) 脳症及び ( ) 骨症を引き起こしたとの報告があり、透析療法を受けている人では使用を避ける必要がある。

- 1 カルシウム    2 アルミニウム    3 ナトリウム    4 マグネシウム  
5 カリウム

問 33 止瀉成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 収斂成分を主体とする止瀉薬については、細菌性の下痢や食中毒の時に使用して腸の運動を鎮めると、かえって状態を悪化させるおそれがある。
- b タンニン酸アルブミンについて、まれに重篤な副作用としてショック（アナフィラキシー）を生じることがあるため、卵アレルギーがある人では使用を避ける必要がある。
- c 塩酸ロペラミドは、食べ過ぎ、飲みすぎによる下痢、寝冷えによる下痢の他、食あたり、水あたりによる下痢にも適用される。
- d 次没食子酸ビスマス、次硝酸ビスマス等のビスマスを含む成分については、海外において長期連用した場合に精神神経症状（不安、記憶力減退、注意力低下、頭痛等）が現れたとの報告があり、1週間以上継続して使用しないこととされている。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	誤	正	誤	誤
3	正	正	誤	正
4	正	誤	誤	正
5	誤	誤	正	正

問 34 瀉下薬に関する記述のうち正しいものはどれか。

- 1 酸化マグネシウムは、小腸から吸収され大腸に分泌される粘液量を増加させることにより瀉下作用を現わす。
- 2 ヒマシ油は、急激で強い瀉下作用をもたらすことから、防虫剤や殺鼠剤を誤って飲み込んだ場合のような脂溶性の物質による中毒に対して効果がある。
- 3 マルツエキスは、高い糖濃度により腸管に水を集めることによって糞便のかさを増し、柔らかくすることによって排便しやすくする。
- 4 センナが配合された瀉下薬は、腸の急激な動きに刺激されて、流産、早産を誘発する恐れがあるため、妊婦には使用を避けることが望ましい。

問 35 次の漢方処方製剤のうち、胃の不調を改善する目的で用いられるものはどれか。

- |   |                                  |   |                                |   |                               |   |                                   |
|---|----------------------------------|---|--------------------------------|---|-------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1 | 八味地黄丸<br><small>はちみじおうがん</small> | 2 | 六君子湯<br><small>りっくんしとう</small> | 3 | 麻子仁丸<br><small>ましにんがん</small> | 4 | 小青竜湯<br><small>しょうせいりゅうとう</small> |
| 5 | 葛根湯<br><small>かっこんとう</small>     |   |                                |   |                               |   |                                   |

問 36 胃腸に作用する医薬品に含まれる成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 塩酸セトラキサートは、体内で代謝されてトラネキサム酸を生じるため、血栓を起こすおそれのある人は、事前に医師などに相談することが望ましい。
- b ウルソデオキシコール酸は、胎児毒性の可能性があるため、妊婦又は妊娠していると思われる女性は使用を避けることが望ましい。
- c 塩酸ピレンゼピンは、消化管の運動に影響を与えることにより、胃液の分泌を抑える作用を示すとされる。
- d ソファルコン、テプレノンは、まれに重篤な副作用として腎機能障害を生じることがある。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 37 高コレステロール改善成分に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 大豆油不<sup>けん</sup>飽化物（ソイステロール）は、肝臓におけるコレステロールの代謝を促す効果を期待し用いられる。
- 2 ビタミンEは、コレステロールから過酸化脂質の生成を抑えるほか、末梢血管における血行を促進する作用があるとされている。
- 3 リノール酸は、肝臓におけるコレステロールの吸収を抑える働きがあるとされており、胆<sup>のう</sup>嚢におけるコレステロールの代謝を促す効果を期待し用いられる。
- 4 パンテチンは、肝臓におけるコレステロールの代謝を正常化する働きがあるとされ、高密度リ<sup>たん</sup>ポ蛋白質（HDL）の分解を促進し、また低密度リ<sup>たん</sup>ポ蛋白質（LDL）が形成される過程に働いて、LDLを増加させる効果を期待して用いられる。

問 38 循環器用薬に配合される成分とその目的に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a コウカ—————末梢の血行を促し、鬱<sup>うっ</sup>血を除く作用がある。
- b ユビデカレノン——心筋の酸素利用効率を高めて収縮力を高めることによって血液循環の改善効果を示す。
- c ヘプロニカート——高血圧等における毛細血管の補強、強化の効果を期待して用いられる。
- d ルチン—————代謝されてニコチン酸が遊離し、その働きによって末梢の血液循環を改善する作用を示す。

- 1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

問 39 貧血に関する記述について、正しいものはどれか。

- 1 鉄分の摂取不足が生じると、ただちに貧血症状（めまい、疲労、動悸<sup>き</sup>、息切れ、耳鳴り）が現れる。
- 2 鉄製剤を服用すると便が黒くなることがあるが、これは副作用により消化管から出血をしているためであり、ただちに使用をやめなければならない。
- 3 鉄分の吸収は空腹時のほうが高いとされているが、消化器系への副作用を軽減するには、食後に服用することが望ましい。
- 4 亜鉛は、ヘモグロビンの産生過程で、鉄の代謝や輸送に重要な役割を持つ。

問 40 浣腸薬<sup>かん</sup>に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 浣腸薬<sup>かん</sup>は、繰り返し使用すると直腸の感受性の低下が生じて効果が弱くなるので連用しないこととされている。
- b 炭酸水素ナトリウムを主薬とする浣腸薬<sup>かん</sup>は、直腸内で内容物を溶解して排便をうながす。
- c グリセリンが配合された浣腸薬<sup>かん</sup>では、排便時血圧低下を生じて立ちくらみの症状が現れることがある。
- d 注入剤を半量等使用した場合、残量を密封して冷所に保存すれば、感染のおそれがないので再利用できる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	誤	正
4	誤	誤	正	正
5	正	誤	誤	正

問 41 外用痔疾用薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 痔周辺の知覚神経に作用して刺激の伝達を可逆的に遮断するために、局所麻酔成分である塩酸メチルエフェドリンが配合されている場合がある。
- b 痔による肛門部の炎症や痒みを和らげるステロイド性抗炎症成分として、酢酸ヒドロコルチゾンが配合されている場合がある。
- c 血管収縮作用による止血効果を期待して、アドレナリン作動成分の塩酸ジブカインが配合されている場合がある。
- d 痔疾患に伴う局所の感染を防止することを目的として、殺菌消毒成分の塩酸クロールヘキシジンが配合されている場合がある。

- 1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

問 42 以下の記述に該当する泌尿器用薬として用いられる漢方処方製剤はどれか。

比較的体力があり、下腹部の筋肉が緊張する傾向がある人における、排尿痛、残尿感、尿の濁り、こしけ（おりもの）の症状に適すとされるが、胃腸が弱く下痢しやすい人では、胃部不快感、下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

- 1 おうれんげどくとう 黄連解毒湯      2 しょうふうさん 消風散      3 りゅうたんしゃかんと 竜胆瀉肝湯      4 ごしゃくさん 五積散  
5 とうきいんし 当帰飲子

問43 女性の月経や更年期障害に伴う諸症状の緩和に用いられる漢方処方製剤のうち、カンゾウを含有するものはどれか。

- 1 うんけいとう 温経湯      2 うんせいいん 温清飲      3 けいしぶくりょうがん 桂枝茯苓丸      4 しもつとう 四物湯  
5 とうまじやくやくさん 当帰芍薬散



問 44 鼻炎用内服薬に配合されている成分のうち、交感神経を刺激して鼻粘膜の血管を収縮させることにより、鼻粘膜の充血や腫れを和らげるアドレナリン作動成分はどれか。

- 1 塩酸ジフェンヒドラミン
- 2 塩化リゾチーム
- 3 塩酸プソイドエフェドリン
- 4 グリチルリチン酸二カリウム
- 5 ヨウ化イソプロパミド

問 45 鼻炎用点鼻薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 急性鼻炎又は副鼻腔炎による諸症状の緩和を目的として使用されるが、アレルギー性鼻炎には使用されない。
- b アドレナリン作動成分が配合された点鼻薬は、過度に使用すると、かえって鼻づまりを起こすことがある。
- c 全身作用を目的として抗ヒスタミン成分や抗炎症成分が配合される場合がある。
- d スプレー式鼻炎用点鼻薬は、噴霧後に鼻汁とともに逆流する場合があるので、使用前に鼻をよくかんでおく必要がある。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 46 鼻に用いる薬の配合成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 塩酸リドカインは、肥満細胞からヒスタミンの遊離を抑えることにより、鼻アレルギー症状を緩和する。
- b 塩化ベンザルコニウムは、鼻粘膜を清潔に保ち、細菌による二次感染を防止する。
- c クロモグリク酸ナトリウムは、アレルギー性でない鼻炎や副鼻腔炎<sup>くう</sup>に対しては無効である。
- d 塩酸ナファゾリンは、交感神経系を刺激して鼻粘膜の血管を収縮させることにより、鼻粘膜の充血<sup>は</sup>や腫れを和らげる。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	誤	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	正	正

問 47 眼科用薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 洗眼液は、涙液成分を補うことを目的とするもので、目の疲れや乾き、コンタクトレンズ装着時の不快感等に用いられる。
- b 人工涙液は、結膜炎（はやり目）や麦粒腫<sup>しゅ</sup>（ものもらい）、眼瞼炎<sup>けん</sup>（まぶたのただれ）等に用いられる。
- c 点眼の際に容器の先端が眼瞼<sup>けん</sup>（まぶた）や睫毛<sup>しょう</sup>（まつげ）に触れないように注意しながら 1 滴ずつ正確に点眼する。
- d 点眼薬は、一度に何滴も点眼しても効果が増すわけではない。

1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

問 48 眼科用薬に用いられる成分のうち、コリンエステラーゼの働きを抑える作用を示し、毛様体におけるアセチルコリンの働きを助けることで、目の調節機能を改善する成分はどれか。

- 1 塩酸ジフェンヒドラミン
- 2 ヒドロキシプロピルメチルセルロース
- 3 アズレンスルホン酸ナトリウム
- 4 塩酸エフェドリン
- 5 メチル硫酸ネオスチグミン

問 49 殺菌消毒薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 塩化ベンザルコニウムは、石鹼との混合によって殺菌消毒効果が低下する。
- b オキシドールは、黄色ブドウ球菌や真菌に殺菌消毒作用を示す。
- c ヨードチンキは皮膚刺激性が強いので、粘膜や目の周りへの使用は避ける必要がある。
- d グルコン酸クロルヘキシジンは、一般細菌類、真菌類に対して比較的広い殺菌消毒作用を示すが、結核菌やウイルスに対する殺菌消毒作用はない。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

問 50 外皮用薬に用いる成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 尿素は、角質層の水分保持量を高め、皮膚の乾燥を改善する。
- b イオウは、皮膚の角質層を構成するケラチンを変質させることにより、角質軟化作用を示す。
- c 白色ワセリンは、角質成分を溶解することにより角質軟化作用を示す。
- d サリチル酸は、頭皮の落屑（<sup>せつ</sup>ふけ）を抑える効果を期待して、毛髪用薬に配合される場合がある。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

問 51 次の外皮用薬の配合成分のうち、殺菌消毒作用を示す成分の正しい組み合わせはどれか。

- a インドメタシン
- b リドカイン
- c アクリノール
- d 塩化ベンゼトニウム

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 52 外皮用薬の配合成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 硝酸ミコナゾールは、皮膚糸状菌の細胞膜の透過性を変化させることにより、その増殖を抑える。
- b ウンデシレン酸は、患部をアルカリ性にするこゝで、皮膚糸状菌の発育を抑える
- c 硫酸フラジオマイシンは、細菌の蛋白質合成を阻害することにより抗菌作用を示す。
- d サルファ剤は、真菌のDNA合成を阻害することにより、抗真菌作用を示す。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	正	誤
3	正	正	誤	正
4	誤	誤	誤	正
5	正	正	誤	誤

問 53 齒槽膿漏薬に用いる成分とその成分を配合する目的との関係について、正しいものの組み合わせはどれか。

成 分	配合目的
a 銅クロロフィリンナトリウム	殺菌消毒
b カルバゾクロム	止血
c チモール	殺菌消毒
d フィトナジオン	組織修復

- 1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

問 54 禁煙補助剤（<sup>そしやく</sup>咀嚼剤）に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a <sup>か</sup>噛むことにより、<sup>くう</sup>口腔内でニコチンが放出され、<sup>くう</sup>口腔粘膜から吸収されて循環血液中に移行する。
- b ニコチンは交感神経系を興奮させる作用を有するので、<sup>がい たん</sup>鎮咳去痰薬などのアドレナリン作動成分が配合された医薬品との併用により、その作用を低下させるおそれがある。
- c <sup>くう</sup>口腔内が酸性になるとニコチンの吸収が低下するため、<sup>くう</sup>口腔内を酸性にする食品を摂取した後しばらくは使用を避けることとされている。
- d 大量使用により禁煙達成が早くなる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	誤	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

問 55 滋養強壮保健薬（医薬品及び医薬部外品）に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品として扱われる滋養強壮保健薬は、体調の不調を生じやすい状態や体質の改善、特定の栄養素の不足による症状の改善又は予防等を目的としている。
- 2 医薬部外品として扱われる滋養強壮保健薬の効能・効果の範囲は、神経痛、筋肉痛、関節痛、しみ・そばかす等のような特定部位の症状に限定されている。
- 3 医薬部外品として扱われる滋養強壮保健薬の配合成分や分量は、人体に対する作用が緩和なものに限られ、生薬成分としては、カシュウ、ゴオウ、ゴミシ、ジオウ、ロクジョウ等が配合される。
- 4 医薬品として扱われる滋養強壮保健薬は、多く摂取したほうが症状の改善が早まる。

問 56 滋養強壯保健薬に含まれるビタミン成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a ビタミンAは、体内の脂質を酸化から守り、細胞の活動を助ける栄養素であり、血流を改善させる作用もある。
- b ビタミンDは、腸管でのカルシウム吸収及び尿細管でのカルシウム再吸収を促して、骨の形成を助ける栄養素である。
- c ビタミンEは、夜間視力を維持したり、皮膚や粘膜の機能を正常に保つために重要な栄養素である。
- d ビタミンB6は、蛋白質の代謝たんに関与し、皮膚や粘膜の健康維持、神経機能の維持に重要な栄養素である。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	誤	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	誤	正

問 57 漢方処方製剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 漢方の考え方として重要なものは、患者の証（体質及び症状）及び陰陽五行説いんようごぎょうである。
- b 漢方処方製剤の使用により、間質性肺炎のような重篤な副作用を起こすことはない。
- c 漢方処方製剤の用法用量においては、適用年齢の下限が設けられていないので生後1カ月の乳児にも安心して使用できる。
- d 患者の証に適さない漢方処方製剤を使用したために症状が悪化することがある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

問 58 消毒薬に用いられる成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a クレゾール石鹼液は、ウイルスに対する殺菌消毒作用がある。
- b イソプロパノールは、微生物のDNA合成を阻害することにより殺菌消毒作用を示す。
- c トリクロロイソシアヌル酸は、プール等の大型設備の殺菌消毒に用いられる。
- d 次亜塩素酸ナトリウムは、皮膚刺激性が強いため、人体の消毒には用いられない。

1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

問 59 衛生害虫の防除に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a ハエの防除の基本はウジの防除であり、ウジの防除法としては、通常、有機リン系殺虫成分が配合された殺虫剤を使用する。
- b ゴキブリの防除に殺虫剤の燻蒸処理を一度行えば、ゴキブリの卵も含めて殺虫効果が十分に期待できる。
- c シラミの防除には、散髪や入浴、衣服の熱湯処理などの物理的方法以外にサラシ粉を配合したシャンプーも用いられる。
- d イヌやネコなどに寄生しているノミの防除には、ノミ取りシャンプーや忌避剤などが用いられる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	誤



問 60 妊娠検査薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一般的な妊娠検査薬の使用は、月経予定日が過ぎて概ね1週間目以降の検査が推奨されている。
- b 妊娠検査薬は、妊娠の早期判定の補助として尿中のhCG（ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン）の有無を調べるものであり、その結果をもって直ちに妊娠しているか否かを断定することはできない。
- c 尿中hCGの検出反応は、hCGと特異的に反応する抗体や酵素を用いた反応であるため温度の影響を受けることはない。
- d 経口避妊薬や更年期障害治療薬などのホルモン剤を使用している人では、妊娠していなくても検査結果が陽性となることがある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	正	誤	誤

問 61 歯に関する以下の記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。なお( )の同じ記号には同じ字句が入る。

歯は、歯周組織によって上下の顎の骨に固定されている。歯槽骨の中に埋没している歯の部分を( a )、歯頸(歯肉線のあたり)を境に口腔に露出する部分を歯冠という。

歯冠の表面は( b )で覆われ、体で最も硬い部分となっている。( b )の下には( c )と呼ばれる硬い骨状の組織があり、神経や血管が通る歯髄を取り囲んでいる。歯の齲蝕が( c )に達すると、神経が刺激されて、歯がしみたり痛みを感じるようになる。

	a	b	c
1	歯根	象牙質	エナメル質
2	歯幹	エナメル質	象牙質
3	歯幹	セメント質	エナメル質
4	歯根	エナメル質	象牙質
5	歯根	セメント質	エナメル質

問 62 消化器系に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 唾液に含まれるリゾチームには、細菌の細胞壁を分解する酵素作用及び消炎作用がある。
- b 唾液には、デンプンをアミノ酸に分解する消化酵素が含まれる。
- c 胃腺から分泌されるペプシノーゲンは、胃酸によりペプシンとなり、脂質を分解する。
- d 血糖値を調節するホルモン(インスリン、グルカゴン)は、肝臓から血液中に分泌される。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	正	正
4	正	誤	正	正
5	誤	正	誤	誤

問 63 呼吸器系に関する以下の記述について、誤っているものはどれか。

- 1 呼吸器系は、鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺からなり、鼻腔から気管支までの呼吸及び吸気の通り道を気道という。
- 2 鼻腔内壁は、粘膜で覆われた棚状の凹凸になっており、乾燥した冷たい外気の流入を防いでいる。
- 3 鼻汁にはリパーゼが多く含まれ、気道の防御機構の一つとなっている。
- 4 扁桃では、気道に侵入してくる細菌、ウイルス等に対する免疫反応が行われている。

問 64 血液に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 血液は、血清と血球からなり、酸素や栄養分を全身の組織に供給し、二酸化炭素や老廃物を排泄する器官へ運ぶ。
- b グロブリンは、血液の浸透圧を保持する働きのほかに、ホルモンや医薬品の成分と複合体を形成する。
- c 白血球は、体内に侵入した細菌やウイルス等の異物に対する防御を受け持つ。
- d アルブミンは、免疫反応において、体内に侵入した細菌やウイルス等の異物を特異的に認識する抗体としての役割を担う。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	誤	正	誤	誤
3	正	正	誤	正
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	正	誤

問 65 泌尿器系に関する以下の記述について、誤っているものはどれか。

- 1 腎臓は、血液中の老廃物の除去のほか、水分及び電解質（特にナトリウム）の排出調節を行い、血液の量と組成を維持して、血圧を一定範囲内に保つ上でも重要な役割を担っている。
- 2 食品から摂取あるいは体内で生合成されたビタミンDは、腎臓で活性型ビタミンDに転換されて、骨の形成や維持の作用を発揮する。
- 3 副腎は、左右の腎臓の上部にそれぞれ附属し、皮質と髄質ずいの2層構造からなる。
- 4 副腎皮質ホルモンの1つであるアドレナリンは、体内に塩分と水を貯留し、カリウムの排泄を促す作用があり、電解質と水分の排出調節の役割を担っている。

問 66 目の症状に関する以下の記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 雪眼炎(雪目ともいう)は、紫外線を含む光に長時間曝さらされ、結膜の上皮に損傷を生じたものである。
- b 目やには、涙液分泌がほとんどない睡眠中や、涙液の働きが悪くなったときに、滞留した老廃物と粘液や脂分が混じってできたものである。
- c 夜盲症は、視細胞が光を感じる反応に不可欠なビタミンB1が不足したために生じる。
- d 眼精疲労は、慢性的な目の疲れに肩こり、頭痛等を伴った症状である。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 67 眼球に関する以下の記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 水晶体は、その周りを囲んでいる毛様体の収縮・弛緩によって、遠くの物を見るときには丸く厚みが増し、近くの物を見るときには扁平へんぺいになる。
- b 水晶体の前にある虹彩こうさいは、瞳孔を散大・縮小させて遠近の焦点調節をしている。
- c 角膜や水晶体には血管が通っておらず、房水と呼ばれる組織液によって栄養分や酸素が供給される。
- d 網膜には光を受容する細胞（視細胞）が密集していて、個々の視細胞は神経線維につながり、それが束なって眼球の後方で視神経となる。

- 1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

問 68 外皮系に関する以下の記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

皮膚の表面に存在する微生物のバランスが崩れたり、皮膚を構成する組織に損傷を生じると、( a )の繁殖、侵入が起こりやすくなる。生体は、それらを排除する反応として( b )を活性化させ、その結果、皮膚に( c )を生じ、発疹や発赤、痒み等の症状が現れることがある。

	a	b	c
1	病原菌	免疫機能	炎症
2	病原菌	解毒機能	アレルギー症状
3	毒素	免疫機能	炎症
4	病原菌	免疫機能	壊死
5	毒素	解毒機能	アレルギー症状

問 69 皮膚に関する以下の記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 表皮は、最も外側にある角質層と表皮細胞の層に分けられ、皮膚に物理的な刺激が繰り返されると表皮細胞が肥厚して、たこやうおのめができる。
- b メラニン色素は、皮下組織にあるメラノサイトで産生され、紫外線から皮膚組織を防御する役割がある。
- c 汗腺には、毛根部に分布するアポクリン腺と、全身に分布するエクリン腺の2種類があり、汗はエクリン腺から分泌される。
- d 皮脂は、皮膚を潤いのある柔軟な状態に保つとともに、外部からの異物に対する保護膜としての働きがある。皮脂の分泌が低下すると皮膚が乾燥し、皮膚炎や湿疹を起こすことがある。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 70 骨と筋組織に関する以下の記述について、誤っているものはどれか。

- 1 赤血球は骨髄で産生される。
- 2 有機質（蛋白質及び多糖体）は骨に硬さを与え、無機質（カルシウムやリン等）は骨の強靱さを保つ。
- 3 骨格筋や心筋は、筋線維を顕微鏡で観察すると横縞模様が見える。
- 4 筋組織は神経からの指令によって収縮するが、骨格筋は体性神経系で支配されるのに対して、平滑筋及び心筋は自律神経系に支配されている。

問 71 交感神経系と副交感神経系の効果器に対する反応の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

効果器	交感神経系の反応	副交感神経系の反応
1 目	瞳孔散大	瞳孔収縮
2 腸	運動亢進	運動低下
3 肝臓	グリコーゲンの分解	グリコーゲンの合成
4 膀胱	排尿筋の弛緩	排尿筋の収縮
5 末梢血管	収縮	拡張

問 72 医薬品の吸収・代謝に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 坐剤は肛門から挿入すると直腸内で溶解、内服の場合よりも全身作用が速やかに現れる。
- b 直腸下部から吸収された坐剤の有効成分は、肝臓で代謝され静脈から循環血中に入り全身を巡る。
- c 皮膚に適用する医薬品（塗り薬、貼り薬等）は、適用部位に対する局所的な効果を目的とするものがほとんどである。
- d 消化管で吸収された医薬品の成分は、消化管の毛細血管から血液中へ移行し、その血液は門脈を経由して肝臓に入る。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	誤	正	正	誤
3	正	誤	正	正
4	正	誤	誤	誤
5	誤	正	正	正

問 73 止血に関する以下の記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。なお( )の同じ記号には同じ字句が入る。

損傷した血管は、血管壁が収縮することで血流を減少させ、大量の血液が流出するのを防ぎ、同時に、損傷部位に血小板が粘着、凝集して傷口を覆う。

血小板から放出される酵素によって血液を凝固させる一連の反応が起こり、血漿蛋白質の一種である( a )が傷口で重合して線維状の( b )となる。( b )線維に赤血球や血小板などが絡まり合い、( c )となって傷口をふさぎ、止血がなされる。

	a	b	c
1	フィブリン	フィブリノゲン	血餅
2	フィブリノゲン	フィブリン	血餅
3	フィブリノゲン	フィブリン	血球
4	フィブリノゲン	フィブリン	血栓
5	フィブリン	フィブリノゲン	血栓

問 74 医薬品の剤型に関する以下の記述について、正しい組み合わせはどれか。

- a 口腔内崩壊錠は、口の中で唾液によって比較的速やかに溶けるため、水なしで服用することができる。
- b カプセル剤の原材料として広く用いられているゼラチンは、ブタなどの動物由来の蛋白質であるため、アレルギーを持つ人では使用を避けるなどの注意が必要である。
- c 内服液剤は、一般的に固形製剤と比べ、服用後、循環血液中の成分濃度が上昇しやすい。
- d 外用液剤は、軟膏剤と比べ、有効成分が適用部位に止まりやすいことが特長で、一般的には、適用した部位の状態に合わせて使用量を調整する。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	誤
2	誤	誤	正	誤
3	正	正	正	誤
4	正	正	誤	正
5	正	誤	正	正

問 75 肝臓の働きに関する以下の記述について、誤っているものはどれか。

- 1 小腸で吸収されたブドウ糖を、グリコーゲンとして蓄える。
- 2 生体に有害な物質を、酵素系の働きで代謝し、無毒化又は体外に排出されやすい形にする。
- 3 脂溶性ビタミンの貯蔵臓器であるが、水溶性ビタミンは貯蔵することができない。
- 4 コレステロール、フィブリノゲン、アルブミン等、生命維持に必須な役割を果たす種々の生体物質を産生する。



問 76 偽アルドステロン症に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 体からナトリウムが失われたことに伴う症状である。
- b 尿量が増加する。
- c 進行すると歩行困難を生じる。
- d 体が小柄な人や高齢者が生じやすいとされている。

	a	b	c	d
1	誤	誤	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	誤	誤

問 77 中毒性表皮壊死症に関する以下の記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 全身が広範囲にわたって赤くなり、高熱（38℃以上）、口唇の発赤・びらん、目の充血などの症状が現れる。
- b 原因と考えられる医薬品の服用後2週間以内に発症することが多い。
- c 原因と考えられる医薬品の使用を中止すれば、すぐに症状は治まる。
- d 発生頻度は高いが、致命的な転帰をたどることはない。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 78 皮膚に現れる副作用に関する以下の記述について、誤っているものはどれか。

- 1 接触皮膚炎は、原因となった医薬品との接触がなくなれば、通常1週間程度で症状が治まり抗体が形成されるため、再び原因となった医薬品と接触しても再発しない。
- 2 接触皮膚炎は、触れた部分の皮膚にのみ生じ、正常な皮膚との境目がはっきりしている
- 3 光線過敏症の症状は、医薬品が触れた部分だけでなく、光が当たった部分の皮膚から全身へ広がり、重篤化する場合がある。
- 4 薬疹は、目や口腔粘膜に異常が見られる場合や発熱を伴う場合には、皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症に進行することがある。

問 79 間質性肺炎に関する以下の記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 間質性肺炎は、気管支又は肺胞が細菌に感染して炎症を生じたものである。
- b 医薬品による間質性肺炎は、医薬品の使用から1～2週間程度の間、息切れ・息苦しさ等の呼吸困難、空咳<sup>せき</sup>、発熱等の症状が現れる。
- c 間質性肺炎の症状は、かぜ、気管支炎等の症状と区別が容易であるが、悪化すると肺線維症となる場合がある。
- d 間質性肺炎では、血液に酸素が十分取り込めずに低酸素状態となる。

1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

問 80 目に現れる副作用に関する以下の記述について、(      )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

(      a      )作用がある成分が配合された医薬品の使用によって眼圧(      b      )が誘発され、眼痛、目の充血とともに急激な視力低下を起こすことがあり、特に(      c      )がある場合には注意が必要である。

	a	b	c
1	抗炎症	上昇	白内障
2	抗炎症	低下	緑内障
3	抗ヒスタミン	上昇	白内障
4	抗コリン	低下	白内障
5	抗コリン	上昇	緑内障

問 81 薬局に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 薬局では、配置による医薬品の販売を行うことができる。
- b 調剤を実施する薬局は、医療提供施設として位置づけられている。
- c 登録販売者は、薬剤師の下で3年従事すれば薬局の管理者になることができる。
- d 医薬品を取り扱う場所であって、薬局開設の許可を受けていなければ、病院又は診療所の調剤所を除き、薬局の名称を付してはならない。

1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 82 店舗販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 薬剤師が店舗管理者の場合、医療用医薬品の一部を販売することができる。
- b 薬剤師が従事している店舗販売業であって、調剤室を有していれば医師が発行した処方せんに基づき調剤することができる。
- c 店舗管理者は、店舗の管理に支障がないと店舗販売業者が判断した場合に限り、他の店舗で従事することができる。
- d 医師などの医療従事者に対しては、医療用医薬品を販売することができる。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	誤
2	誤	正	誤	誤
3	誤	誤	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	誤	誤	誤

問 83 薬局及び店舗販売業の規定に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 薬局では、医療用医薬品を販売することができる。
- b 調剤と一般用医薬品の販売を併せて行う場合は、薬局と店舗販売業の許可を両方受けなければならない。
- c 薬局及び店舗販売業では、一般用医薬品の配送に関する規定が異なっている。
- d 店舗販売業の許可は、店舗ごとに受けなければならない。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	正	正	正	正
4	誤	正	誤	誤
5	正	誤	誤	誤

問 84 配置販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 区域管理者は、薬剤師又は登録販売者でなければならない。
- b 配置販売業者は、一般用医薬品のうち、経年変化が起こりにくい医薬品など厚生労働大臣が定める基準に適合した医薬品を販売することができる。
- c 配置販売業者又はその配置員は、配置販売に従事しようとする区域の都道府県知事が発行する身分証明書の交付を受け、かつ、これを携帯しなければ、配置販売に従事できない。
- d 配置販売業者は、医薬品を開封して分割販売することができない。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	正	正	誤	正
4	誤	誤	正	正
5	正	正	誤	誤

問 85 次の記述は、薬事法第2条第1項（医薬品の定義）の条文である。（ ）の中に入れるべき正しい字句はどれか。なお（ ）内にはすべて同じ字句が入る。

この法律で「医薬品」とは、次に掲げる物をいう。

- 一 日本薬局方に収められている物
- 二 人又は動物の疾病の診断、治療又は予防に使用されることが目的とされている物であつて、（ ）、歯科材料、医療用品及び衛生用品（以下「（ ）等」という。）でないもの（医薬部外品を除く。）
- 三 人又は動物の身体の構造又は機能に影響を及ぼすことが目的とされている物であつて、（ ）等でないもの（医薬部外品及び化粧品を除く。）

- 1 機械器具
- 2 検査薬
- 3 治験薬
- 4 医療機器
- 5 食品

問 86 次の記述は、薬事法第 29 条（店舗管理者の義務）の条文である。（ ）の中に入れるべき正しい字句の組み合わせはどれか。

店舗管理者は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないように、その店舗に勤務する薬剤師、登録販売者その他の従業員を監督し、その店舗の（ a ）及び（ b ）を管理し、その他その店舗の業務につき、必要な注意をしなければならない。

	a	b
1	構造設備	医薬品
2	構造設備	医薬品その他の物品
3	構造設備	医薬品陳列区画等
4	衛生面	医薬品その他の物品
5	衛生面	医薬品陳列区画等

問 87 薬局開設の許可の基準に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 申請者が罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、3 年が経過した者である場合、許可を与えないことができる。
- b 申請者が心身の障害により薬局開設者の業務を適正に行えない者である場合、許可を与えないことができる。
- c 申請者が麻薬の中毒者である場合、許可を与えないことができる。
- d 申請者が成年被後見人である場合、許可を与えないことができる。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	誤	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	正	誤	正	正
5	正	正	誤	誤

問 88 食品の表示に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 栄養機能食品の表示方法は、健康増進法で規定している。
- b 栄養機能食品では、栄養成分の機能表示に関して、厚生労働大臣の許可が必要である。
- c 保健機能食品以外の一般食品に特定の保健用途に適する旨の効果が標榜<sup>ほう</sup>されている場合は、薬事法の取締りの対象となる。
- d 保健機能食品を販売する場合、健康の保持増進効果について虚偽又は誇大な表示を行うことは健康増進法で禁止している。

1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

問 89 健康増進法で規定する食品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 特別用途食品は、乳児並びに幼児の発育又は健康の保持若しくは回復の特別な用途に適する旨を表示した食品をいう。
- b 特定保健用食品は、身体の生理学的機能に影響を与える保健機能成分を含む食品をいう。
- c 販売する食品に乳児用又は幼児用等の特別な用途に適する旨の表示をしようとする場合は、厚生労働大臣に届け出なければならない。
- d 食品に特定の保健の用途を表示するには、生理的機能や特定の保健機能を示す有効性や安全性に関する審査を受け、個別に厚生労働大臣の許可を取得しなければならない。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	誤	正	誤
4	誤	正	誤	誤
5	正	正	誤	正

問 90 医薬部外品及び化粧品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬部外品を販売する場合は、医薬品販売業の許可が必要である。
- b かつては医薬品であったが医薬部外品へ移行された製品については、使用する際に必要な注意が促されるように容器や包装等に識別表示が行われる。
- c 人の疾病の診断、治療若しくは予防に使用されるものは、医薬部外品には該当しない。
- d 薬用化粧品類は、薬事法上、化粧品に該当する。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	誤	正	誤
4	誤	正	誤	誤
5	誤	正	誤	正

問 91 化粧品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 化粧品において、ひげを剃りやすくすると表示・<sup>ぼう</sup>標榜することは認められている。
- b 化粧品は、身体に塗擦、散布、その他これらに類似する方法で使用されることが目的とされているもので、人体に対する作用が緩和なものである。
- c 化粧品において、医薬品的な<sup>ぼう</sup>効能効果を表示・標榜することは認められていない。
- d 化粧品は、医薬品と区別して貯蔵又は陳列しなければならない。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	正	正	誤
3	誤	誤	正	正
4	正	正	正	正
5	誤	正	誤	誤

問 92 一般用医薬品の販売に関する以下の記述の正誤について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 薬局開設者又は店舗販売業者は、第一類医薬品又は第二類医薬品を販売する場合には、薬剤師又は登録販売者にその適正な使用のために必要な情報を提供させるよう努めなければならない。
- b 薬局開設者又は店舗販売業者は、第三類医薬品を販売する場合には、薬剤師又は登録販売者にその適正な使用のために必要な情報を提供させることが望ましいものの、特に法律上の規定は設けられていない。
- c 配置販売業については、第一類医薬品を配置する場合は、配置販売に従事する薬剤師が口頭で情報提供を行えば、書面による情報提供を省略することができる。
- d 薬局開設者又は店舗販売業者は、第一類医薬品を販売する場合には、医薬品を購入した者から説明を要しない旨の意思表示があったときは、薬剤師に書面を用いた情報提供を行わせなくとも薬事法違反にはならない。

1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 93 毒薬及び劇薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 店舗管理者が登録販売者である店舗販売業者は、毒薬又は劇薬を開封して販売することが禁止されている。
- b 劇薬を14歳未満の者、その他安全な取扱いに不安のある者に交付することは禁止されている。
- c 毒薬及び劇薬は、いずれも薬効が期待される摂取量と中毒のおそれがある摂取量の差が大きく、その取扱いには注意を要する。
- d 業務上毒薬又は劇薬を取り扱う者は、それらを他の物と区別して、貯蔵、陳列しなければならない。劇薬を貯蔵する場合は、貯蔵する場所にかぎを施さなければならない。

1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)



問 94 次の記述は、薬事法第2条第9項（生物由来製品の定義）の条文である。（ ）内に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

人その他の生物（植物を除く。）に由来するものを原料又は材料として製造（小分けを含む。）をされる（ a ）のうち、保健衛生上特別の注意を要するものとして、厚生労働大臣が（ b ）の意見を聴いて指定するものをいう。

	a	b
1	医薬品、医薬部外品又は化粧品	薬事・食品衛生審議会
2	医薬品、医薬部外品、化粧品又は医療機器	医薬品医療機器総合機構
3	医薬品又は化粧品	薬事・食品衛生審議会
4	医薬品、医薬部外品、化粧品又は医療機器	薬事・食品衛生審議会
5	医薬品、医薬部外品又は化粧品	医薬品医療機器総合機構

問 95 医薬品の取扱いに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 既存の一般用医薬品と有効成分、分量、用法用量、効能効果等が明らかに異なる新一般用医薬品は、承認後一定期間は第一類医薬品に分類される。
- b 第三類医薬品に分類されている医薬品は、第一類医薬品に分類が変更されることはない。
- c 配置販売業者は、一般用医薬品を配置する場合は、第一類医薬品、第二类医薬品又は第三類医薬品の区分ごとに陳列しなければならない。
- d 無承認無許可医薬品の摂取による重篤な健康被害が発生した場合、行政庁が製品名を公表することがあるので、薬剤師や登録販売者は、これらの情報に留意しておく必要がある。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	正	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	正	誤	正

問 96 医薬品の表示に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の外箱等には保健衛生上必要な事項が記載されているが、輸入されたものであれば英文で記載されていても差し支えない。
- b 医薬品の容器、外箱等には、製造業者の名称又は住所を記載しなければならない。
- c 不正表示医薬品には、当該医薬品に関し誤解を招くおそれのある事項が記載されているものが含まれる。
- d 一般用医薬品には、一般用医薬品のリスク区分を示す識別表示が記載されていなければならない。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	正	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

問 97 一般用医薬品の広告に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品は、誇大広告や承認前の広告が禁止されている。
- b 医薬品の販売広告には、店舗において販売促進のために用いられるポスターやステッカーは含まれない。
- c テレビCMにおいて医薬品の誇大広告を行った場合は、それが製造販売業者の作成したものであっても、テレビ局は薬事法の取締りの対象となる。
- d 広告において、医師が医薬品の効能効果を保証する表現は、科学的な根拠がある場合には行っても良い。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	正	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

問 98 医薬品等適正広告基準に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医療機関、公的機関が公認、推薦している旨の広告については、一般消費者の医薬品に対する認識に与える影響が大きいため原則として不相当とされている。
- b 承認されている効能効果のうち、主な効能効果を強調した広告を行ってもよい。
- c 効能効果に一定の前提条件が付されている場合、その前提条件を省略して広告を行うことは原則として認められていない。
- d どのような効能効果があるかを示すため、その医薬品の使用前・使用後を示した写真を用いて広告を行うことは認められている。

1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 99 苦情相談窓口に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品に関する苦情相談が寄せられ、立入検査等により違反の事実が確認された場合、行政庁は必要に応じて、許可の取消等の処分を行うことがある。
- b 食品の広告に関する苦情であっても、薬事法の取締りの対象となることがある。
- c 一般用医薬品の販売等に関する相談窓口は、行政庁のみに設置されている。
- d 消費者団体等の民間団体において、医薬品に関する相談が寄せられた場合には、必ず行政庁に通報しなければならない。

1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

問 100 行政庁の監視指導に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 不正医薬品の疑いのある物を、試験のために必要な最小分量収去することができる。
- b 行政庁は、薬局開設者又は医薬品の販売業者に対し必要があると認められる場合には、当該業者に対し必要な報告をさせ、又は薬事監視員に立入検査を行わせ、帳簿書類等を検査させ、従業員その他関係者に質問させることができる。
- c 薬局開設者及び医薬品の販売業者が、監視指導に対し虚偽の報告を行った場合、五十万円以下の罰金に処せられることがある。
- d 薬事監視員による立入検査は、業務が多忙で対応できない場合は断ることができる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	誤	正
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

問 101 「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 副作用の報告の期限は、医薬品の販売等に従事する専門家が事態を把握してから3か月以内とされている。
- b 副作用の報告は、報告様式の記入できるところだけ記入すればよい。
- c 報告の対象となる副作用は、使用上の注意に記載されているものだけである。
- d 報告書の送付は、郵送又はFAXによるほか、「厚生労働省電子申請・届出システム」を利用して電子的に行うこともできる。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 102 副作用情報等の収集に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 薬局開設者は、医薬品の副作用によるものと疑われる健康被害の発生を知った際、その医薬品と健康被害の因果関係が明確であり危害発生の防止のために必要であると認めた場合に限って、その旨を厚生労働大臣に報告しなければならない。
- 2 医薬品は、適正に使用しないと有害事象の発生頻度が高くなるため、医薬品の過量摂取によるものと思われる健康被害については、医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の報告対象から除外されている。
- 3 2006年6月の薬事法改正による登録販売者制度の導入に伴い、登録販売者も医薬品の副作用等によるものと疑われる健康被害の発生について、報告を行う医療関係者として位置づけられている。
- 4 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度における報告対象には、健康食品によると疑われる健康被害も含まれる。

問 103 「医薬品副作用被害救済制度」に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品の副作用であるかどうか判断がつかない場合でも、給付請求を行うことは可能である。
- b 救済給付の対象となるには、添付文書や外箱等に記載されている用法・用量、使用上の注意に従って使用されていることが基本となる。
- c 給付の種類は、医療費、医療手当、障害年金、障害児養育年金、遺族年金、遺族一時金及び葬祭料があり、給付の種類によらず請求期限はない。
- d すべての医薬品について、副作用により一定程度以上の健康被害が生じた場合には、救済制度の対象となる。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 104 「医薬品副作用被害救済制度」に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 救済給付業務に必要な費用は、給付費、事務費ともに国庫支出金により賄われている。
- 2 個人輸入により入手した医薬品についても、国内において医薬品として使用されているものと同一成分のものであれば、医薬品副作用被害救済制度による医療費等の給付を受けることができる。
- 3 医薬品による副作用被害に対する救済給付の請求先は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構である。
- 4 一般用医薬品の使用による副作用被害への救済給付の請求にあたって必要な書類は、医師の診断書及び要した医療費を証明する書類（領収書等）の2つである。

問 105 「医薬品PLセンター」に関する以下の記述について、（ ）の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

医薬品副作用被害救済制度の対象とならないケースのうち、（ a ）に損害賠償責任がある場合には、「医薬品PLセンター」への相談が推奨される。

この「医薬品PLセンター」は、平成6年に製造物責任法が成立するに当たり、裁判によらない迅速、公平な被害救済システムの有効性に鑑み、裁判外の紛争処理体制を充実強化することが求められたため、（ b ）において開設された。

- |   | a    | b          |
|---|------|------------|
| 1 | 国    | 日本製薬団体連合会  |
| 2 | 製薬企業 | 日本OTC医薬品協会 |
| 3 | 国    | 日本OTC医薬品協会 |
| 4 | 製薬企業 | 日本製薬団体連合会  |
| 5 | 医療機関 | 日本製薬団体連合会  |

問 106 医薬品の使用上の注意に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a インドメタシンを主な成分とする外用鎮痛消炎薬については、長期連用しないよう記載されている。
- b エアゾール剤は、薬剤を特定の局所に均一に噴霧できるため、顔面や首のまわりなどへの使用に適している。
- c 患部が化膿している人は、ステロイド性抗炎症成分が配合された外用剤を使用しないこととされている。
- d 一般用検査薬ではその検査結果のみで確定診断となるため、判定が陽性であれば速やかに治療を開始しなければならない旨記載されている。

1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 107 次の1～5で示される医薬品成分のうち、6歳未満の小児に使用するとメトヘモグロビン血症を起こすおそれがあるため、服用（使用）してはいけないとされているものはどれか。

- 1 アミノ安息香酸エチル      2 オキセサゼイン      3 テオクル酸プロメタジン
- 4 イブプロフェン      5 アスピリン

問 108 第1欄の記述は、ケトプロフェン配合外用鎮痛消炎薬の使用上の注意のうち、「次の人は使用しないこと」の記載に関するものである。第1欄の記述に該当する成分として正しいものは第2欄のどれか。

第1欄

次の添加物によるアレルギー症状（発疹、発赤、かゆみ、かぶれ等）を起こしたことがある人。

第2欄

- 1 オキシベンゾン      2 リン酸二水素ナトリウム
- 3 パラオキシ安息香酸エステル      4 ポリソルベート80
- 5 トリエタノールアミン

問 109 医薬品の使用上の注意「してはいけないこと」に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 重篤な副作用として皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症があげられている医薬品では、「次の人は使用（服用）しないこと」の項に「本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人」と記載されている。
- b 液体絆創膏を湿潤した患部に用いると分泌液が貯留して症状を悪化させることがあるため注意喚起されている。
- c すべての一般用医薬品の添付文書には「服用時は飲酒しないこと」と記載されている。
- d 「3日以上（継続して）使用（服用）しないこと」と記載されている場合であっても、症状が改善しない場合は使用し続けるのがよい。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

問 110 「服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと」とされている薬効群、主な成分及び懸念される症状の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

	薬効群	主な成分	懸念される症状
1	かぜ薬	マレイン酸クロルフェニラミン	異常なまぶしさ
2	催眠鎮静薬	ブロムワレリル尿素	目のかすみ
3	胃腸薬	塩酸ピレンゼピン	眠気
4	止瀉薬 <sup>しや</sup>	塩酸ロペラミド	眠気
5	乗物酔い防止薬	臭化水素酸スコポラミン	下痢

問 111 次の胃腸薬、胃腸鎮痛鎮痙<sup>けい</sup>薬の成分のうち、「透析療法を受けている人は服用しないこと」とされている成分の正しい組み合わせはどれか。

- a ファモチジン      b アルジオキサ      c スクラルファート
- d 臭化ブチルスコポラミン

- 1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)



問 112 医薬品の使用上の注意に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 口の渇き、便秘、軟便等一過性の軽い副作用については、発現しても直ちに使用を中止する必要はないが、その症状が継続又は増強がみられた場合は使用を中止し、専門家に相談すべきである。
- b 現に医師の治療を受けている人について、その医薬品が使用されると状態の悪化や副作用等を招きやすい基礎疾患が示されている。
- c 局所に適用する医薬品は、患部の状態によっては症状を悪化させたり、誤った部分に使用すると有害事象を生じたりするおそれがある。
- d 医療機関で治療を受けている人が、一般用医薬品を服用する場合には、処方された医薬品の服用を一時的に休止する必要がある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	誤	正	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	正	誤	誤	誤

問 113 医薬品の適正使用に関する以下の記述について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の販売に従事する専門家は、医薬品の購入者等に対してその医薬品を使い終わるまで、添付文書等は必要なときにいつでも取り出して読むことができるよう、大切に保管することを説明することが必要である。
- b 薬物乱用や薬物依存は、違法薬物だけで生じることであり、一般用医薬品は市販品であるため、乱用や依存が生じることはない。
- c 医薬品の使用及び取扱い等について、正しい知識普及のため、毎年10月17日～23日の1週間、「薬と健康の週間」として広報活動等が実施されている。
- d 医薬品の販売等に従事する専門家は、購入者等に対して科学的根拠に基づいた正確なアドバイスを与え、セルフメディケーションを適切に支援する必要がある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	正	正
4	正	誤	正	正
5	誤	誤	正	誤





問 114 一般用医薬品の添付文書に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品の添付文書は、その医薬品の容器若しくは包装に「用法、用量その他使用及び取扱い上の必要な注意」等の記載があっても添付を省略できない。
- 2 添付文書には、販売名の上部に「使用にあたって、この説明文を必要に応じて読むこと」の記載をしなければならない。
- 3 医薬品の添付文書には、重要な内容が変更された場合、改訂年月が記載され、改訂された箇所が明示されている。
- 4 漢方処方製剤は、ある程度の期間継続して使用されることにより効果が得られる特徴があるので、長期連用しても問題ない旨記載されている。

問 115 一般用医薬品の添付文書に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 一般用医薬品は複数の有効成分が配合されている場合が多いため、併用すると作用の増強、副作用等のリスクが予測される医薬品については「医師・薬剤師等に相談すること」と記載されている。
- 2 通常の医薬品では、承認を受けた販売名が記載されている。
- 3 定められた用法・用量で効果が認められない場合には、使用者が自らの判断である程度まで用量を増やしてもよいことが記載されている。
- 4 病気の予防・改善につながるアドバイスは、「用法・用量その他使用及び取り扱い上の必要な注意」ではないため、添付文書等に記載してはならない。

問 116 一般用医薬品の添付文書に記載されている標識的マークの使用法として正しいものの組み合わせはどれか。

- a  — してはいけないこと
- b  — 子どもの手の届かないところに保管すること
- c  — その他の注意
- d  — 相談すること

- 1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

問 117 医薬品等の安全性情報に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 ドクターレターには、医薬品等について重要かつ緊急な情報が記載されており、厚生労働省から医薬関係者に対して直接配布される。
- 2 独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品医療機器情報提供ホームページには、緊急安全性情報、「使用上の注意」の改訂情報、新医薬品等の承認情報などが掲載されている。
- 3 医薬品・医療機器等安全性情報は、各製造販売業者が自ら製造販売した医薬品等による重要な副作用・不具合に関する情報を定期的に広く医薬関係者向けに情報提供するものである。
- 4 独立行政法人医薬品医療機器総合機構が行っている医薬品・医療機器の安全性に関する情報が発出されたときの電子メール配信サービスは、医療機関や学術団体等の関係者、薬剤師は配信登録できるが、登録販売者は配信登録できない。

問 118 医薬品の表示に関する以下の記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。なお、( )の同じ記号には同じ字句が入る。

( a )の表示については、適切な保存条件の下で製造後3年を超えて性状及び品質が安定であることが確認されている医薬品において法的な( b )、流通管理等の便宜上、外箱等に記載されるのが通常となっている。

表示された「( a )」は、( c )状態で保管された場合に品質が保持される期限である。

	a	b	c
1	使用期限	— 表示義務はないが	— 未開封
2	有効期限	— 表示義務はないが	— 未開封
3	使用期限	— 表示義務はないが	— 開封後の
4	有効期限	— 表示義務があり	— 開封後の
5	使用期限	— 表示義務があり	— 未開封

問 119 医薬品の販売等に従事する専門家の役割に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品を使用した人が医療機関を受診する際、その添付文書を持参し、医師や薬剤師に相談するよう説明する必要がある。
- b 医薬品の販売等に従事する専門家は、一般用医薬品の適正使用情報をくまなく説明するよりも、医薬品の購入者等の状況を聞き取ったうえで、必要と思われる事項に焦点を絞って説明することが重要である。
- c 登録販売者は、一般用医薬品の販売等に従事する専門家として、医薬品の適正使用推進のための啓発活動に積極的に参加、協力することが期待される。
- d 購入者から、開封後どの程度の期間品質が保持されるかについて質問を受けた場合には、医薬品それぞれの包装形態や個々の使用状況、保管状況等を踏まえて、適切な説明をする必要がある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	正	誤	正	誤

問 120 一般用医薬品の保管及び取扱場所の注意に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 眼科用薬は、なるべく早く使い切るため、家族で共用することが望ましい。
- b シロップ剤は他の剤型と比較して変質しやすいため、開封後は冷凍庫で凍結させるのが望ましい。
- c 一般用医薬品を勤務先や旅行先に携帯する場合には、変質や衝撃による破損を避けるためにも必要最小限を別容器に入れ替えて持ち歩く方が望ましい。
- d 小児は好奇心が強く、つかめるものは手を出して口の中に入れることがあるため、小児の目につかないところに保管する必要がある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正